

美術の中のかたち 一手で見る造形 2018年7月7日(土)

—11月4日(日)

【開館時間】午前10時—午後6時  
(特別展開催中の金・土曜日は午後8時まで)  
入場は閉館の30分前まで

当館毎夏恒例の「手で見る」シリーズ展。29回目の今年は、彫刻における触覚的なものとは何かという根本的問題に、塑造(=粘土による造形)の達人、中ハシクシゲ(1955-)が挑みます。日々触れあっている愛犬をモチーフに、視覚を遮断し、触覚だけで塑造。見た目はともかく、触れば生き生きと感じられる、そんな「触りがいい」彫刻とは、一体どのようなものなのか!? ぜひじっくりと触れてお確かめください。

中ハシクシゲ展 関連事業  
アーティスト・トーク+対談  
「触覚が生み出す作品とは」  
出品作家が展示作品の制作過程を紹介するとともに、全国各地のミュージアムを訪れ木彫も手がける目が見えない人と、触覚と彫刻をめぐって対談します。  
講師：中ハシクシゲ氏(出品作家)、小原二三夫氏(日本ライトハウス情報文化センター)  
9月1日(土)午後3時—午後5時、当館レクチャールームにて(定員100名)  
\*聴講無料  
\*兵庫県立美術館「芸術の館友の会」会員優先座席あり

県美プレミアム  
館外作品による小企画

# 触りがいい 犬のあ 中ハシクシゲ



【休館日】月曜日(ただし7月16日、9月17日、9月24日、10月8日の祝日・振替休日は開館、7月17日、9月18日、9月25日、10月9日の火曜日は休館)

【会場】兵庫県立美術館 常設展示室4

【主催】兵庫県立美術館 【後援】公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会



兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
Find us on Facebook